

令和4年度 第41回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会 に於ける

新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みについて

1. 「中学生・高校生等を対象とした全国大会・コンクール等における感染拡大予防ガイドライン」(スポーツ庁、文化庁)、「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」(東京都高等学校体育連盟 令和3年6月18日改訂)などに則り、感染予防を徹底して大会運営を行う。
2. 感染拡大防止のため以下のことを遵守する。
 - ① 以下の事項に該当する場合は、参加できない。
 - ア 主催者が参加者に求める感染拡大防止のための措置を守れない場合。
 - イ 体調が良くない場合(例: 37.5℃以上の発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合)。
 - ウ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - エ 過去14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合。
 - オ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
 - ② 感染症拡大防止のために主催者が決めた措置について遵守し、指示に従う。
 - ③ 他の参加者、主催者スタッフとの距離を確保する。(2m以上が望ましい)
 - ④ マスクを常に着用する。

選手は第3控まで着用し、第2控から退場までは外すことができる。

マスクを着用したまま弓を引いてもよい。

退場後は速やかにマスクを着用する。
 - ⑤ マイタオルを持参し、こまめな手洗いとアルコールによる手指消毒を行う。
 - ⑥ 大きな声での会話・応援等をしない。
 - ⑦ 大会前・大会期間中のミーティング・飲食においても、三つの密を避ける。
 - ⑧ 大会参加に係る移動中においても、感染防止のための適切な行動を心がけ、各学校で責任をもって集団感染のリスクを避けること。
 - ⑨ 感染症対策については、会場内及び敷地内(駐車場含む)でも遵守すること。
 - ⑩ 会場内ではIDカードを常に着用すること。(IDカードのない者の入場は認めない)。
 - ⑪ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、関東大会に準じて「関東高等学校弓道大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針」の6.大会終了後、感染が確認された場合の連絡系統主に従い速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。
3. 大会に参加する選手並びに補助員生徒は、大会の14日前から、必ず毎日、起床後に体温と症状を確認して「部活動大会等参加同意書 兼 健康観察票」に記入し部活動顧問に提出する。
4. 大会に参加する監督・引率並びに大会役員は、大会の14日前から、必ず毎日、起床後に体温と症状を確認して所属長に報告する。
5. 大会期間中は「健康状態申告書」を受付で提出する。また、会場受付で検温を実施する。**37.5度以上の場合は会場に入場できない。**
6. 本大会は無観客試合とする。
7. 会場の入館人数を制限するため、介添の生徒を本大会では認めない。
8. 会場での密を避けるため、開会式は行わない。また、監督会議は事前の書面開催とする。

9. 会場での密をさけるため、例年の競技日程を大幅に変更した。例年は初日に参加者受付・諸会議・開会式等を実施し、2日目に予選・準決勝・決勝・閉会式を実施していた。これを本大会では、初日の開会式・監督会議を行わず、午後に予選を実施する。この予選は館内の同時間における滞在者数を減らすため、都県ごとに時間差をつけて受付・入館・招集・行射を行い、行射後はすみやかに退館する。2日目は予選通過者のみが入館して準決勝・決勝を行う。閉会式は男女各8名の選手・監督のみの参加で密が回避出来ると判断して実施する。
10. 会場での選手・監督の飲食は禁止とする。大会の日程は昼食を摂る必要がないように組んである。
11. 他県からの出場者については希望する選手・監督に対して、宿泊を斡旋する。宿泊先はシングルの部屋を確保して宿泊先での密を防ぐ。また、日帰り圏内の選手・監督の便を考えた大会日程を設定した。

連絡先

東京都高等学校体育連盟

弓道専門部 委員長 松崎 賢一

住所 〒193-0944

東京都八王子市館町1097-136

東京都立翔陽高等学校 内

・TEL 0279-24-2320

・FAX 0279-24-9543